



公益社団法人
八幡市シルバー人材センター

【財務諸表】

- 平成 22 年度事業報告
- 平成 22 年度収支計算書及び財務諸表
- 平成 23 年度事業計画
- 平成 23 年度収支予算
- 役員名簿

平成22年度 事業報告

概況

八幡市シルバー人材センターは、入会してよかったと思えるシルバー～元気で活動するよろこび～をセンター事業の指針として、国・府・八幡市からの財政支援をいただきながら就業の理念を「親切・ていねい・まごころ」に就業できる感謝の気持ちを込めて、積極的な仕事の遂行や世代間交流等のボランティア活動、社会還元を心がけた弛みのない努力と多様な活動を行いました。八幡市が目指す「誰もが明るく元気に暮らせるまちづくり」にセンターを挙げて積極的に取り組んでまいりました。

社会経済・雇用情勢低迷の影響を受け、遺憾ながら事業実績の伸びには繋がらなかったとは言え、事業所をはじめ市民の皆さんに愛されご活用いただきながら、高齢社会の担い手として年齢に関係なく自立して、元気に活躍、就業することで健康を保ち、地域社会の活性化、共生社会の実現、医療費負担額の軽減に貢献いたしました。

また、3月11日、世界に類を見ない未曾有の大災害が発生しました。東日本大震災・津波・原発事故によって多くの皆さんが罹災され、困窮されています。一刻一秒一時でも早く元気と笑顔を取戻し、穏やかな暮らしをしていただきたいと願うばかりでございます。

当センターも（社）全国シルバー人材センター事業協会をとおして、ささやかながら支援・協力をいたしました。今後もできることから出来ることを支援続けてまいりたいと考えています。

皆さんの活動状況・事業実績は次のとおりです

◎ 会 員 数 : 533人〔男性 364人、女性 169人
(外特別会員1人)〕

前年度比 96.0% △22人

入会者数は、71人（男性 45人、女性 26人）

入会の動機は、① 健康維持・増進 ② 経済的 ③ 生きがい・社会参加
退会者数は、93人（男性 61人、女性 32人）

退会の理由は、① 病気 ② 加齢 ③ 就職

平均年齢は、男性 71.2 歳、女性 70.3 歳、全体 70.9 歳

最高齢者は、男性 89.0 歳、女性 86.0 歳

◎ 入 会 率 :	2.3%
◎ 八幡市の高齢化率 :	21.6%
◎ 受 注 件 数 :	3,203件 前年度比 △35件 98.9%
◎ 就 業 実 人 員 :	532人 前年度比 △18人 96.7%
◎ 就 業 率 :	99.8% 前年度比 100.7%
◎ 就 業 延 べ 人 員 :	62,443人 前年度比 △1,865人 97.1%
◎ 契 約 金 額 :	215,262,692円
	前年度比 △9,737,100円 95.7%
	公 共 58,997,671円 27.4%
	民間事業 156,265,021円 72.6%
	(個人家庭を含む)

取組んだ主な内容

1、公益法人制度改革について

◎ 平成23年3月22日付、京都府知事から公益社団法人として認定を受けました。

4月1日からは、公益社団法人 八幡市シルバー人材センターと名称を変え新たなスタートをいたします。

2、会員の増強について

センター事業の拡充と発展の基盤となる会員増強に取り組みました。

- 毎月の入会説明会開催並びに効果的なチラシ等の配布
- 「広報やわた」に会員募集の記事掲載
- 会員の口コミ運動
- 会員のつどい・会員作品展等を開催して魅力あるセンターを PR
- 市民の多く集まるイベント・行事に参加し、やすらぎ会員を中心に
 - ◇ 女性会員募集 PR を展開
- 就業季節を配慮した効果的なチラシ等を配布

3、普及啓発活動と就業機会の開拓について

センターが実施する事業内容をより多くの方に知っていただき、利用・活

用を願って就業機会拡大を図るため、次のように取組みました。

- ホームページを活用した継続的なセンター事業の PR
- 10月普及啓発月間に各種イベント会場、駅前・スーパー前等市内
13箇所で啓発ちらし・ティッシュ等の配布による街頭宣伝活動
◇ 実施日 10月8日～10月31日 参加者 延べ 293人
- 会員一人ひとりが営業マンの自覚を持ち、アイデアを生かした仕事の掘り起こしと口コミ運動による受注拡大

4、安全・適正就業の推進と健康管理対策について

会員の安全・適正就業・健康の維持増進は、センター事業の全てに優先することの認識と自覚を促進し、無災害・事故ゼロを目指し、関係諸団体と連携して取組みました。

- 安全パトロールの実施と安全保護具の整備・点検の徹底と着用指導
- 安全標語の募集と会報「きらり」等への掲載活用
- 安全教室
◇ 「安全な歩行と運動 いつまでも」 参加者 189人
- 健康と安全のイベント
◇ 「反射材の活用術、スポーツ健康体操等」 参加者 38人
- 緊急時に高齢者にできること（日本赤十字社） 参加者 22人
- 発注者に対する安全・適正就業に関する啓蒙
- 安全就業10か条の周知徹底
- センター理念に基づく、適正な事業の推進

5、企画提案方式による事業について

八幡市の総合計画に基づき、行政機関・関係諸団体と連携を図りながら、福祉・家事援助サービス、介護予防周辺事業に取組みメタボリックシンドローム対策事業、次世代育成事業、野菜づくり事業、伝統芸能伝承事業等に取組みました。

☆ 介護・子育ての分野

◎ 福祉・家事援助サービス

陽だまりのような暖かさを持つセンター会員の特性を生かし、子供の安全見守りや、高齢者の生活自立支援、介護予防事業、生活に密着した細かなサ

サービス提供の需要に丁寧に対応すると共に就業会員の資質の向上と健康寿命を延ばすための市民参加型の講習会や研修会を実施しました。

- 世代間交流料理講習会 受講者 25人
- 会員研修・経験交流会
 - ◇ 「家事援助サービス基本研修」・「あの日から16年」を振り返って、
「ボランティアについて」・「シニア3楽体操」等
- ガンバルーン体操指導者養成講座（4日間） 受講者 述べ 69人
- 日本赤十字社 健康支援講習会（2日間） 受講者 延べ 39人
- 宇治徳洲会 医療講演会（8回） 受講者 延べ152人

◎ 子育て支援（世代間交流）

次世代を担う子供たちが歌声や遊び・諸行事での触れ合いや交流、食育等をとおして豊かな感性を持ち、心身ともに健全であるように支援を行いました。エンゼルエコー合唱、昔遊びの伝承や手先の器用さを養い小道具の使用を指導する木工教室、紙ヒコーキ作りや昔遊びボランティア講師等の社会参加活動、世代間交流には、延べ206人の大勢の皆さんが取り組み、活動の輪が広がりました。

☆ 環境・教育の分野

◎ 休耕田活用野菜づくり事業

- 休耕田を活用して花プロジェクトチームが野菜や花を栽培して、地域の高齢者を対象とした花摘み会を開催。（ハーブ）コーンフラワー（矢車菊の花弁）をアンテナショップ等で販売をしました。
（ふるさと加工食品マップにも掲載しています。）

◎ 伝統芸能伝承事業

- やわたものしり博士検定

八幡のことをもっと知りたい…知識・教養を高めたい…生涯学習のテーマにしたい…人に知識を披露したい…知識を深めて仕事にいかしたい…

八幡市に関する歴史・文化、観光・歳時、自然・生物、産業・暮らし等の検定を行い、八幡市に対して理解と愛着を深め、八幡市を再発見、市民としての誇りと郷土愛をより一層育んでいただきました。

2級検定には63人、1級検定には32人がチャレンジしました。

- 組曲「やわた四季の詩」

文化芸術活動をとおして、郷土に誇りと愛着を抱き、5感を生かした表現

力を養い、人の絆と心の豊かさを深めることを目的として、八幡市に伝わる、♪♪ ながれ橋のうた♪♪ に、振りや台詞をつけて、シンセサイザー・竹太鼓・邦楽・踊り・合唱等を交えた、「組曲 やわた四季の詩」を創作しました。

今年度は、夏の部を「市民コーラスのつどい」において、八幡市少年少女合唱団・女性コーラスグループ、民舞の会と合同で第1回目の発表をいたしました。

6、シニアワークプログラム地域事業（厚生労働省委託事業）

仕事を持って充実した毎を送りたいと願う高齢者の皆さんを応援する、シニアワークプログラム事業を次のように実施しました。

野菜栽培アシスタント講習会（落花生・さつまいもづくり）

平成22年5月14日～平成22年11月30日 修了者 23人

7、自主財源の確保について

◎ アンテナショップへの参加や利用をとおして会員や地域住民との交流・センター事業の理解が深まりました。

- 延べ利用者数 872人
- 就業延べ人員 217人

◎ 特定公益増進法人（シルバー人材センター連合会）寄付金支援2件をいただきました。

8、その他の取組みについて

◎ センターからのホットな情報と会員の皆さんからの声と想いが伝わるよう「見て・読んで・楽しく」工夫を凝らした手作りの会報「きらり」（年4回）、ふれあい通信（年1回）を発行しました。

◎ 福利厚生事業の推進

会員のつどい・会員作品展等を開催して会員相互の連携と交流を深め、会員さんの文化活動実践の素晴らしさを広く市民にアピールしました。

◎ 会員互助会活動を支援しました。

◎ 関係団体との連携強化を目的にセンター事業の円滑な運営を図りました。

2. 会 員 数

(1) 月別入退会状況

(単位：人)

入退区分 年 月	入 会			退 会			差 引 合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成22年3月末	—	—	—	—	—	—	380	175	555
4月	11	5	16	1	0	1	390	180	570
5月	3	6	9	2	1	3	391	185	576
6月	9	2	11	1	1	2	399	186	585
7月	1	2	3	6	1	7	394	187	581
8月	3	0	3	0	0	0	397	187	584
9月	6	1	7	0	1	1	403	187	590
10月	2	2	4	3	2	5	402	187	589
11月	2	3	5	2	2	4	402	188	590
12月	0	2	2	4	0	4	398	190	588
平成23年1月	2	1	3	3	2	5	397	189	586
2月	3	1	4	8	2	10	392	188	580
3月	3	1	4	31	20	51	364	169	533
合 計	45	26	71	61	32	93	364	169	533

(外 特別会員 1名)

(2) 会員の地域分布

(単位：人)

区 分	男 子	女 子	合 計
1 区	34	14	48
2 区	42	12	54
3 区	21	18	39
4 区	45	22	67
5 区	25	6	31
6 区	27	21	48
上 区	4	1	5
中 区	4	1	5
下 区	2	2	4
内 里 区	4	4	8
戸 津 区	7	2	9
美 濃 山 区	14	8	22
欽 明 台 区	3	2	5
男山地区 (西山地区を含む)	132	56	188
合 計	364	169	533

(3) 会員の年齢別階層状況

(単位：人)

区 分	男 子	女 子	合 計	構 成 比
64 歳 以 下	39 ^人	24 ^人	63 ^人	12 %
65 歳 ~ 69 歳	122	61	183	34
70 歳 ~ 74 歳	127	54	181	34
75 歳 ~ 79 歳	55	26	81	15
80 歳 以 上	21	4	25	5
合 計	364	169	533	100

※ 平均年齢 男子 71.2歳 女子 70.3歳 全体 70.9歳
 会員の最高年齢 男子 89 歳 女子 86 歳

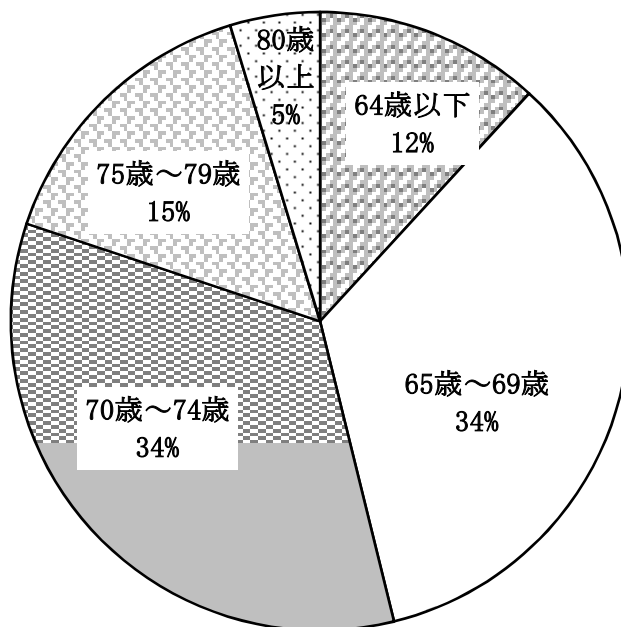


図1. 会員年齢別階層分布 (平成23年3月31日現在)

3. 事業実績

(1) 月別状況

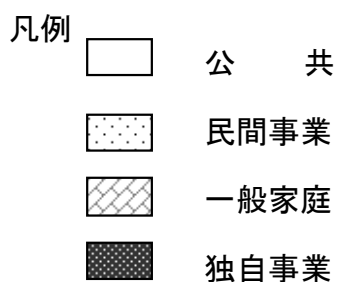
区 分	受注件数	就業実人員	就業延人員	契約金額
平成22年4月	327	377 ^人	5,676 ^{人(日)}	15,781,527 ^円
5月	215	371	4,693	15,961,348
6月	279	394	5,199	19,095,037
7月	362	399	5,840	20,842,498
8月	258	378	6,076	18,243,362
9月	244	380	4,858	18,344,543
10月	365	411	5,349	20,320,337
11月	345	383	5,071	20,003,589
12月	311	381	5,544	18,766,473
平成23年1月	178	361	4,446	15,577,717
2月	153	388	4,885	15,139,861
3月	166	351	4,806	17,186,400
合 計 (A)	3,203	4,574	62,443	215,262,692
平成21年度実績(B)	3,238	4,703	64,308	224,999,792
A/B×100 (C)	98.92 [%]	97.26 [%]	97.10 [%]	95.67 [%]

(注) 「受注件数」は契約期間が複数月にわたる場合も一件として計上している

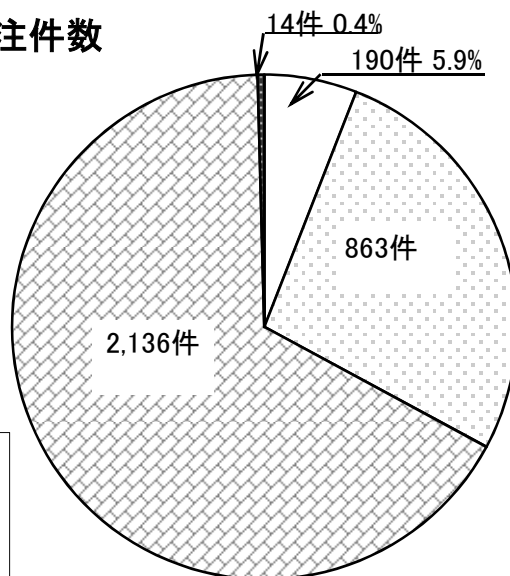
(2) 過去3年間の年度比較

区 分	受注件数	就業実人員	就業延人員	契約金額
平成20年度実績	3,310 ^件	4,746 ^人	60,665 ^{人(日)}	231,648,777 ^円
平成21年度実績	3,238	4,703	64,308	224,999,792
平成22年度実績	3,203	4,574	62,443	215,262,692

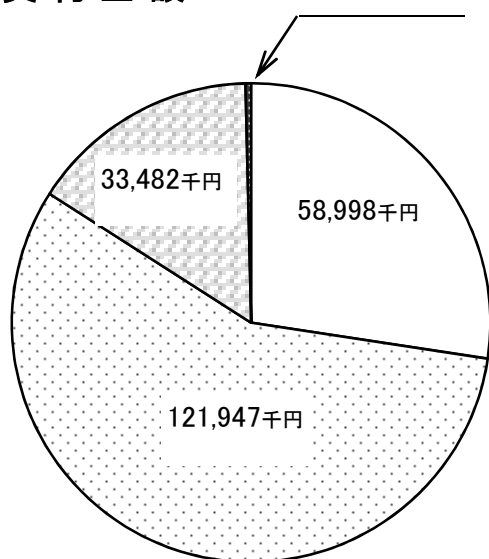
(3) 発注元別諸状況



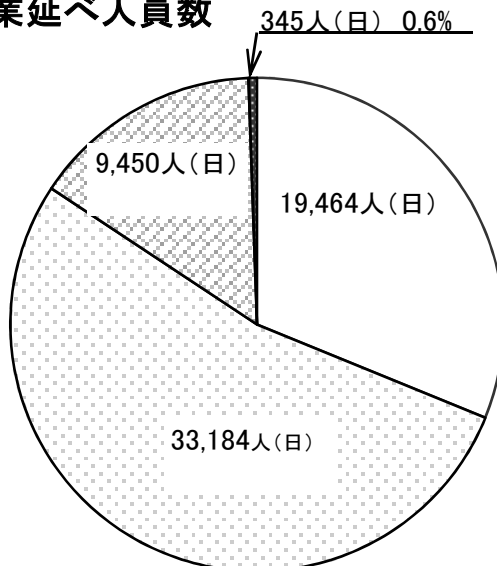
受注件数



契約金額



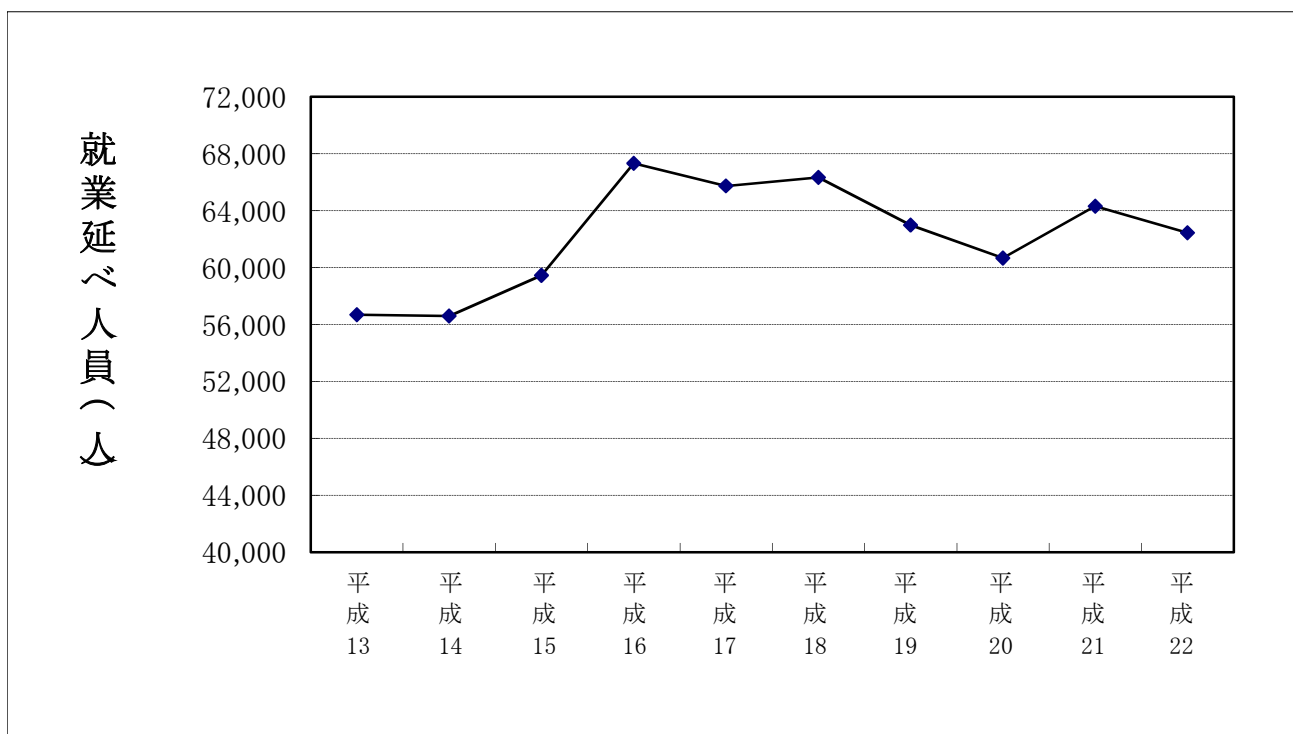
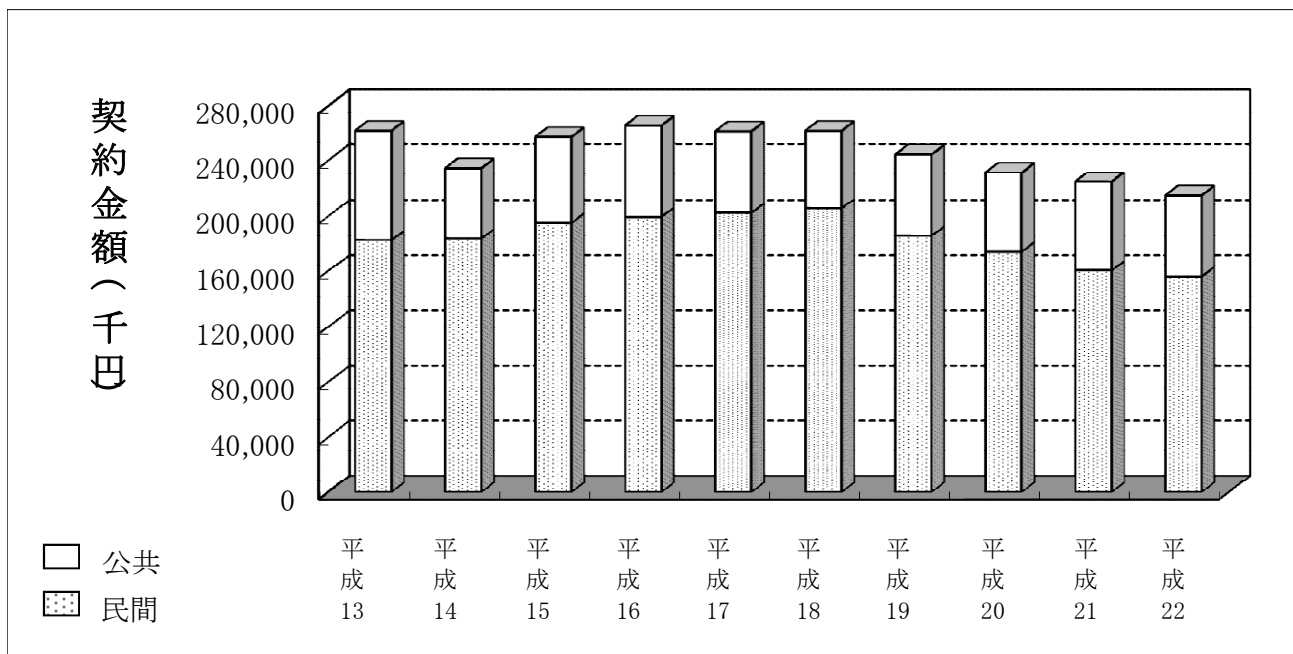
就業延べ人員数



(4) 職種別状況

区分	登録会員数	受注件数	就業延人員	契約金額
1. 技術	114人	396件	3,440人(日)	22,491,710円
2. 技能	69	1,105	3,990	23,676,318
3. 事務整理	60	164	1,353	4,029,106
4. 管理	77	59	7,194	30,638,590
5. 折衝外交	27	56	16,249	14,576,016
6. 一般作業	129	1,045	24,141	104,675,642
7. サービス等	57	378	6,076	15,175,310
計	533	3,203	62,443	215,262,692

(5) 契約金額と就業延べ人員の推移



(単位:千円)

年度	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	
契約金額	民間	183,070	184,330	195,540	199,770	202,710	205,980	186,392	174,498	160,755	156,265
契約金額	公共	78,920	50,470	62,020	66,030	58,900	55,950	58,036	57,151	64,245	58,998
計		261,990	234,800	257,560	265,800	261,610	261,930	244,428	231,649	225,000	215,263

(単位:人)

就業延べ人員	56,687	56,597	59,446	67,317	65,730	66,326	62,987	60,665	64,308	62,443
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

収 支 計 算 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	215,270,000	215,262,692	7,308	民間 156,265千円 公共 58,998千円
受取配分金	185,250,000	185,210,982	39,018	
受取材料費等	14,100,000	14,123,238	△ 23,238	
受取事務費	15,920,000	15,928,472	△ 8,472	
労働者派遣事業等受託収益	5,000	0	5,000	
労働者派遣事業等受託収益	5,000	0	5,000	
受取会費	2,283,000	2,142,900	140,100	
正会員受取会費	2,268,000	2,132,100	135,900	
賛助会員受取会費	15,000	10,800	4,200	
受取補助金等	29,427,000	29,396,325	30,675	
受取連合交付金	14,410,000	14,410,000	0	国(連合)
受取市補助金	11,560,000	11,560,000	0	八幡市
受取府補助金	2,862,000	2,862,000	0	
受取連合助成金	50,000	29,750	20,250	
シニアワークプログラム 技能講習共同費収益	545,000	534,575	10,425	
受取負担金	158,000	89,050	68,950	
受取負担金	158,000	89,050	68,950	
特定資産運用益	5,000	10,583	△ 5,583	
特定資産受取利息	5,000	10,583	△ 5,583	預金利息
雑収益	233,000	226,957	6,043	
受取利息	5,000	2,711	2,289	預貯金利息
雑収益	228,000	224,246	3,754	その他の雑収入
経常収益計	247,381,000	247,128,507	252,493	
(2) 経常費用				
事業費	245,437,000	245,229,538	207,462	
支払配分金	185,250,000	185,210,982	39,018	会員配分金
支払材料費等	11,536,000	11,497,742	38,258	諸作業の経費
給料手当	21,546,000	21,542,495	3,505	職員給与
臨時雇賃金	90,000	86,970	3,030	臨時職員賃金
法定福利費	3,707,000	3,692,852	14,148	社会保険料等

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	差 異	備 考
退職給付費用	3,012,000	3,010,000	2,000	退職金共済掛金等
福利厚生費	107,000	104,510	2,490	健康診査料等
会議費	4,000	3,150	850	連絡調整会議賄費
旅費交通費	341,000	330,880	10,120	会議開催に係る旅費
通信運搬費	1,168,000	1,163,818	4,182	郵便料、電話代等
減価償却費	50,000	47,242	2,758	
什器備品費	612,000	610,567	1,433	1万円以上10万円未満の備品
消耗品費	1,013,000	1,006,963	6,037	事務用消耗品、燃料費等
修繕費	232,000	231,777	223	機械器具等の修繕費
印刷製本費	525,000	519,245	5,755	月刊シルバー等
光熱水料費	1,039,000	1,033,821	5,179	ガス、電気、水道料
賃借料	3,024,000	3,021,451	2,549	車輛リース料等
保険料	2,292,000	2,290,318	1,682	会員傷害保険料等
諸謝金	5,025,000	4,991,043	33,957	就業機会創出員等謝金
租税公課	312,000	303,356	8,644	自動車重量税、消費税等
支払負担金	116,000	113,528	2,472	会議等負担金
組織活動助成費	259,000	259,000	0	
委託費	4,101,000	4,085,378	15,622	事業運営システム保守料等
教材費	66,000	65,070	930	講習テキスト代
支払手数料	9,000	7,380	1,620	振込手数料等
支払委託金等返還	1,000	0	1,000	
管理費	2,249,000	2,212,771	36,229	
役員報酬	792,000	786,000	6,000	理事会経費
給料手当	578,000	578,000	0	職員給与
法定福利費	95,000	94,400	600	社会保険料等
退職給付費用	79,000	78,000	1,000	退職金共済掛金等
福利厚生費	3,000	1,700	1,300	健康診査料等
旅費交通費	7,000	6,280	720	会議等旅費
通信運搬費	30,000	27,540	2,460	郵便料、電話代等
消耗品費	32,000	28,140	3,860	事務用消耗品
光熱水料費	6,000	6,000	0	ガス、電気、水道料
賃借料	80,000	71,645	8,355	総会会場費
租税公課	1,000	0	1,000	
支払負担金	239,000	235,000	4,000	関係団体年会費
委託費	277,000	273,375	3,625	総会開催に係る委託費

(単位：円)

科 目		予算現額	決算額	差 異	備 考
	支払手数料	17,000	15,670	1,330	各種手数料等
	雑費	13,000	11,021	1,979	諸雑費
	經常費用計	247,686,000	247,442,309	243,691	
	当期經常増減額	△ 305,000	△ 313,802	8,802	
	当期一般正味財産増減額	△ 305,000	△ 313,802	8,802	
	一般正味財産期首残高	25,015,350	25,015,350	0	
	一般正味財産期末残高	24,710,350	24,701,548	8,802	
	II 正味財産期末残高	24,710,350	24,701,548	8,802	

収 支 計 算 書 (注記)

平成22年4月1日から平成23年3月31日

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	差 異	備 考
【投資活動収支の部】				
<投資活動収入>				
特定資産取崩収入	21,205,761	21,205,761	0	
退職給付引当資産取崩収入	3,920,000	3,920,000	0	退職給付引当預金の取崩
減価償却引当資産取崩収入	1,261,761	1,261,761	0	減価償却引当預金の取崩
財政運営資金積立資産 取崩収入	12,824,000	12,824,000	0	固定資産とした運転資金の取崩
記念事業積立資産取崩収入	3,200,000	3,200,000	0	固定資産とした積立預金の取崩
投資活動収入計	21,205,761	21,205,761	0	
<投資活動支出>				
固定資産取得支出	2,000	0	2,000	
車輜運搬具購入支出	1,000	0	1,000	車輜の購入費
什器備品購入支出	1,000	0	1,000	
特定資産取得支出	12,993,000	12,983,242	9,758	
退職給付引当資産取得支出	112,000	112,000	0	退職給付要支給額積立
減価償却引当資産取得支出	51,000	47,242	3,758	減価償却引当金積立
財政運営資金積立資産 取得支出	12,830,000	12,824,000	6,000	財政運営積立
記念事業積立資産取得支出	0	0	0	
敷金・保証金等支出	1,000	0	1,000	
預託金支出	1,000	0	1,000	自動車リサイクル料金
投資活動支出計	12,996,000	12,983,242	12,758	

貸 借 対 照 表

平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	10,411,385	80,287	10,331,098
仮払金	171,161	0	171,161
その他の流動資産	16,499,080	18,371,832	△ 1,872,752
流動資産合計	27,081,626	18,452,119	8,629,507
固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	6,348,460	10,156,460	△ 3,808,000
減価償却引当資産	47,242	1,261,761	△ 1,214,519
財政運営資金積立資産	19,396,694	19,396,694	0
記念事業積立資産	0	3,200,000	△ 3,200,000
特定資産合計	25,792,396	34,014,915	△ 8,222,519
その他固定資産			
車輛運搬具	60,443	99,193	△ 38,750
什器備品	11,381	19,873	△ 8,492
電話加入権	313,700	313,700	0
敷金・保証金・預託金	7,630	7,630	0
その他固定資産合計	393,154	440,396	△ 47,242
固定資産合計	26,185,550	34,455,311	△ 8,269,761
資産合計	53,267,176	52,907,430	359,746
II 負債の部			
流動負債			
未払金	5,717,008	1,972,998	3,744,010
前受金・仮受金	721,945	282,887	439,058
預り金	106,179	99,743	6,436
その他の流動負債	15,664,748	15,379,992	284,756
流動負債合計	22,209,880	17,735,620	4,474,260
固定負債			
退職給付引当金	6,355,748	10,156,460	△ 3,800,712
固定負債合計	6,355,748	10,156,460	△ 3,800,712
負債合計	28,565,628	27,892,080	673,548
III 正味財産の部			
一般正味財産	24,701,548	25,015,350	△ 313,802
(うち、特定資産への充当額)	(19,443,936)	(23,858,455)	(△4,414,519)
正味財産合計	24,701,548	25,015,350	△ 313,802
負債及び正味財産合計	53,267,176	52,907,430	359,746

正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	215,262,692		
受取配分金	185,210,982		
受取材料費等	14,123,238		
受取事務費	15,928,472		
受取会費	2,142,900		
正会員受取会費	2,132,100		
賛助会員受取会費	10,800		
受取補助金等	29,396,325		
受取連合交付金	14,410,000		
受取市補助金	11,560,000		
受取府補助金	2,862,000		
受取連合助成金	29,750		
シェアワークプログラム技能講習共同費収益	534,575		
受取負担金	89,050		
受取負担金	89,050		
特定資産運用益	10,583		
特定資産受取利息	10,583		
雑収益	226,957		
受取利息	2,711		
雑収益	224,246		
経常収益計	247,128,507		
(2) 経常費用			
事業費	245,229,538		
支払配分金	185,210,982		
支払材料費等	11,497,742		
給料手当	21,542,495		

(単位:円)

科 目		当年度	前年度	増減
	臨時雇賃金	86,970		
	法定福利費	3,692,852		
	退職給付費用	3,010,000		
	福利厚生費	104,510		
	会議費	3,150		
	旅費交通費	330,880		
	通信運搬費	1,163,818		
	減価償却費	47,242		
	什器備品費	610,567		
	消耗品費	1,006,963		
	修繕費	231,777		
	印刷製本費	519,245		
	光熱水料費	1,033,821		
	賃借料	3,021,451		
	保険料	2,290,318		
	諸謝金	4,991,043		
	租税公課	303,356		
	支払負担金	113,528		
	組織活動助成費	259,000		
	委託費	4,085,378		
	教材費	65,070		
	支払手数料	7,380		
	管理費	2,212,771		
	役員報酬	786,000		
	給料手当	578,000		
	法定福利費	94,400		
	退職給付費用	78,000		
	福利厚生費	1,700		
	旅費交通費	6,280		
	通信運搬費	27,540		
	消耗品費	28,140		
	光熱水料費	6,000		

(単位:円)

科 目		当年度	前年度	増減
	賃借料	71,645		
	支払負担金	235,000		
	委託費	273,375		
	支払手数料	15,670		
	雑費	11,021		
	経常費用計	247,442,309		
	当期経常増減額	△ 313,802		
	当期一般正味財産増減額	△ 313,802		
	一般正味財産期首残高	25,015,350		
	一般正味財産期末残高	24,701,548		
II	正味財産期末残高	24,701,548		

※ 20年度会計基準適用初年度のため当年度のみ記載

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上方法

退職給付引当金は、給与規程に基づき、期末退職給付の要支給額に相当する金額から特定退職金共済制度の積立金額を控除した金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
退職給付引当資産	10,156,460	112,000	3,920,000	6,348,460
減価償却引当資産	1,261,761	47,242	1,261,761	47,242
財政運営資金積立資産	19,396,694	12,824,000	12,824,000	19,396,694
記念事業積立資産	3,200,000	0	3,200,000	0
合 計	34,014,915	12,983,242	21,205,761	25,792,396

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	6,348,460	(0)	(0)	(6,348,460)
減価償却引当資産	47,242	(0)	(47,242)	(0)
財政運営資金積立資産	19,396,694	(0)	(19,396,694)	(0)
記念事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
合 計	25,792,396	0	19,443,936	6,348,460

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
車輛運搬具	3,714,045	3,653,602	60,443
什器備品	849,132	837,751	11,381
合 計	4,563,177	4,491,353	71,824

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
運営補助金	国	0	14,410,000	14,410,000	0	—
運営補助金	市	0	11,560,000	11,560,000	0	—
運営補助金	府	0	2,862,000	2,862,000	0	—
助成金						
連合助成金	連合	0	29,750	29,750	0	—
合 計		0	28,861,750	28,861,750	0	

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等		金 額
			使用目的等	使用事業	
(流動資産)					
	現金	手許保管	運転資金	シルバー人材センター事業	37,423
	預金	京都銀行八幡中央支店	運転資金	シルバー人材センター事業	10,054,165
		京都銀行八幡中央支店	運転資金	法人管理	310,000
		京都銀行八幡中央支店	運転資金	シニアワークプログラム地域事業	0
		UFJ信託銀行京都支店	運転資金	シルバー人材センター事業	6,797
		山城八幡郵便局	運転資金	シルバー人材センター事業	2,000
		京都やましろ農協八幡市支店	運転資金	シルバー人材センター事業	1,000
	未収配分金	八幡市役所 外 251件	契約金額	シルバー人材センター事業	14,269,901
	未収材料費	八幡市役所 外 54件	契約金額	シルバー人材センター事業	996,205
	未収事務費	八幡市役所 外 240件	契約金額	シルバー人材センター事業	1,232,974
	仮払金	労働保険	労働保険概算払	シルバー人材センター事業	171,161
流動資産合計					27,081,626
(固定資産)					
特定資産	退職給付引当資産	京都銀行八幡中央支店	職員退職金支払のための積立資産として管理されている預金	シルバー人材センター事業	6,158,460
	退職給付引当資産	京都銀行八幡中央支店	職員退職金支払のための積立資産として管理されている預金	法人管理	190,000
	減価償却引当資産	京都銀行八幡中央支店	固定資産買換え資金として管理されている預金	シルバー人材センター事業	47,242
	財政運営資金積立資産	京都銀行八幡中央支店	配分金等事業資金の支払いをするために管理されている預金	シルバー人材センター事業	18,396,694
	財政運営資金積立資産	UFJ信託銀行京都支店	配分金等事業資金の支払いをするために管理されている預金	シルバー人材センター事業	1,000,000
	記念事業積立資産	京都銀行八幡中央支店		シルバー人材センター事業	0
その他の固定資産	車輛運搬具	トラック 京都46 な 7405	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	8,898
		軽トラック 京都41 ち 6938	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	8,152
		軽貨物 京都41 ま 8716	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	14,910
		軽トラック 京都41 む 6399	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	12,391
		軽トラック 京都41 も 7550	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	16,092
	什器備品	ルームエアコン(日立)	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	2,315

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等		金額
			使用目的等	使用事業	
(その他の固定資産)	(什器備品)	ルームエアコン(三菱)	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	5,789
		液晶ビジョン	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	3,277
	電話加入権		公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	313,700
	預託金	自動車リサイクル料金	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	シルバー人材センター事業	7,630
固定資産合計					26,185,550
資産合計					53,267,176
(流動負債)					
	未払金	職員諸手当・旅費 外	職員に支払う諸手当等の未払い金額	シルバー人材センター事業	532,580
		京都南社会保険事務所	センター負担の社会保険料未払い金額	シルバー人材センター事業	305,486
		全シ厚生年金基金	センター負担の社会保険料未払い金額	シルバー人材センター事業	72,500
		業務委託料等	シルバー人材センター事業に供する業務委託料等の未払い金額	シルバー人材センター事業	4,773,954
		宇治税務署	平成22年度実施事業に供する消費税の未払い金額	シルバー人材センター事業	4,348
		業務委託料等	法人管理に要する経費等未払い金額	法人管理	28,140
	預り金	京都南年金事務所	職員からの社会保険料預り金	シルバー人材センター事業	35,887
		全シ厚生年金基金	職員からの社会保険料預り金	シルバー人材センター事業	9,690
		宇治税務署	職員からの源泉税預り金	シルバー人材センター事業	52,186
		事業収入		シルバー人材センター事業	8,416
	前受金	23年度会費 外	平成23年度会費前受金等	シルバー人材センター事業	721,945
	未払配分金	配分金351名	シルバー人材センター事業に供する配分金の未払い金額	シルバー人材センター事業	14,967,695
	未払材料費等	業者材料費等	シルバー人材センター事業に供する材料費等の未払い金額	シルバー人材センター事業	697,053
流動負債合計					22,209,880
(固定負債)					
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員退職金規程における退職金要支給額	シルバー人材センター事業	6,355,748
固定負債合計					6,355,748
負債合計					28,565,628
正味財産					24,701,548

平成 23 年度 事業計画

1. 基本方針

当シルバー人材センター設立以来、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」に基づき、センター会員が長年培った知識と経験を生かした「親切・ていねい・まごころ」を就業姿勢に掲げ、健康で仕事ができる喜びと感謝の気持ちを込めて事業活動を実施してまいりました。

年齢にかかわらずいつまでも元気で自立して活躍するセンターの皆さんは、健康寿命を推進し、福祉の受け手ではなく社会の担い手として重要な役割を担っていただいています。

今、景気の低迷による事業実績の伸び悩みや行財政改革、厳しい事業仕分け等により補助金が減少し、センター事業はこれまで経験したことのない大きな転換を図らなくてはならない時期に入っています。

こんな時だからこそ、足元を固め、なお一層の安全就業に基づいた、仕事の遂行を行うとともに、会員皆さんが相互に手を携えて、組織、事業運営の拡充・強化を進めて、地域社会の活性化、共生社会の実現に貢献してまいりましょう。

昨年 10 月公益社団法人への移行申請はこの 3 月に認定されました。

八幡市シルバー人材センター設立 30 周年の大きな節目を迎える中、4 月からは、「公益性・公共性の高い団体」公益社団法人八幡市シルバー人材センターとして新たな第一歩を踏み出します。

役職員、会員のみinnで知恵を出し合い、英知を結集し、市民や地域社会からの理解と支援をいただきながら事業展開を進め、高齢者による元気な地域社会の構築のためにセンター力を発揮すべく頑張ってまいりましょう。

2. 実施計画

(1) 組織等の普及啓発と体制の強化

シルバー人材センターの目的、事業の拡大、会員の増強、事業及び運営に関する普及啓発活動を積極的に展開します。

- ① 会員増強と受注拡大はセンター組織の根幹を成す車の両輪のようなもの、センターの総意を挙げて取り組むものとします。
- ② 広報紙「やわた」の活用
 - ・八幡市広報紙「やわた」にシルバー人材センターの目的、事業活動の状況、入会勧誘等の記事を掲載します。
- ③ 会員の積極的なロコミ活動
 - ・会員自らが事業全体に関心と理解・責任を持ち、積極的に参加して、

効率的な運営を図ります。

・会員各自がセンターの営業マンとしての自覚を持ち、口コミによる啓発活動を実施します。

④ 組織体制の強化

・シルバー人材センターの存在や役割・重要性を広く地域社会にアピールします。

・理事会、委員会、地域班長幹事会、地域班長会、職種班、会員がそれぞれの役割やセンターの担うべき事業内容を自覚・認識し、意識改革を図り、相互の連携を図りながら、自主的な活動を密にして、受注体制の強化を促進します。

・国・府・市からの事業運営補助金削減の中にあつて、組織・事務局体制の合理化を更に進め、資源の再利用、エコロジー（環境保護）の実践と経費削減対策、・無駄ゼロ作戦を推進します。

⑤ 公益社団法人制度改革

・公益社団法人の認定を受け、地域社会への貢献度・公益性の高い事業に取り組みます。

(2) 会員の増強

シルバー人材センター事業運営の根幹をなす会員の増強を図ります。

① 会員による口コミ入会勧誘活動を実施します。

② 継続的な入会説明会を開催します。

③ 福祉・家事サービス関係業務については、女性会員・夫婦会員の拡大に努めます。

④ ホームページ・マスメディア、情報誌掲載、各種イベント時の看板やポスター掲示をします。

⑤ 賛助会員の増強を図ります。

(3) 就業機会の開拓

継続受注の拡大、新規受注・新規起業の開拓を図ります。

① 会員の手による地域社会の中に密着した地域住民のニーズに沿った、仕事の掘起しを推進します。

② 団塊世代の多様性に合った当センター独自の事業の掘起しを図ります。

③ ホームページ・マスメディアを活用した事業アピールをします。

(4) 安全・適正就業の推進

就業の提供は、発注者の意向や会員の希望、経験、健康状態、就業意欲な

どを考慮して、適材・適所に就業できるよう努め、ワークシェアリングやローテーション就業を実施します。

(5) 安全就業と会員の健康管理対策

安全就業はセンター事業の全てに優先します。

- ① 安全意識の高揚を図ります。
 - ・安全保護具の装着、安全標語の募集、作業用具等の整備・点検を徹底します。
- ② 安全に対する会員一人ひとりの自覚と、十分な認識を促します。
 - ・会員が就業中・就業途上も含めて、事故を起こさない、また事故に遭わないよう、事故防止安全教室・安全研修会等を開催します。
- ③ 安全委員会活動を充実・強化し、安全パトロールや安全指導・安全対策を徹底し、無事故・無災害の実現を期することにします。
- ④ 過重な負担や高所・危険な仕事を避け、年齢や能力に相応しい就業内容になるよう留意します。

(6) シルバー人材センター充実化推進

☆ 女性就業拡大推進計画

- ① 女性ならではの職種の新たな開発、女性向けの職域の拡大を図ります。
- ② 就業に関する相談等を行い、女性が魅力的に感じる就業先の開拓や女性向けの職域の拡大と推進を図ります。

(7) 事業活性化計画の目標値の実現

時代の流れや環境の変化に合わせて、事業及び事業運営の内容を調整し、転換させて、「センターに入って活躍できてよかった」と思える魅力あるセンターづくりを目指します。

第2次中・長期振興計画に基づいた、会員の増強、事業の開発・創造と拡大、基本原則に即した会員による自主的な事業・運営の展開など、組織、事業及び運営の全般にわたる改善・方策を検討し、目標値実現に向け最大の努力を行ないます。

(8) 企画提案方式による事業の推進

八幡市の総合計画に基づき、行政機関・関係諸団体と連携を図りながら、福祉・家事援助サービス事業、介護保険周辺事業、介護予防事業に取り組むとともに、メタボリックシンドローム対策事業、福祉施設における話し相手等の後方支援事業、次世代の健全な育成支援事業、伝統野菜づくり事業、伝統

芸能伝承事業等に取り組むものとします。

関係諸団体との連携を図りながら、一人暮らしの人が孤独に陥らないよう傾聴事業に取り組みます。

歴史的伝統を広く社会に知らしめ、映像を媒体として魅力あふれる八幡市をPRする取り組みを行います。

☆ 介護・子育ての分野

- ① 高齢者の生活自立支援、次世代育成支援、食育支援、仕事と家庭の
- ② 少子化への対応、市民ニーズ支援をします。
- ③ 世代間交流（エンゼルエコー・昔遊び等）継続推進します。
- ⑤ 発注者の要望にきめこまやかに速やかな対応ができるよう努めます。
- ④ 事業実施に必要な技能講習・研修会の開催を積極的に実施します。

☆ 環境・教育の分野

- ① 休耕田活用野菜・花づくり事業をとおした地域との交流を図ります。
- ③ やわたものしり博士検定を実施し、郷土への理解と誇りを育みます。
- ④ 組曲「やわた四季の詩」を国民文化祭京都のイベント協賛事業として表現発表します。

(9) シニアワークプログラム事業

厚生労働省の委託を受けて、(社)京都府シルバー人材センター連合会が主催する、高齢者の就職や就業を支援するため、雇用需要に応じた技能講習会の実施に可能な限り参画し、積極的に活用するものとします。

(10) 技能講習・研修会の実施

知識の向上や技能のスキルアップは自らの責任をもって積極的に取り組むものとします。

基本研修、就業に繋がる地域社会のニーズにあった技能講習・研修会等を開催します。

(11) シルバー派遣事業について

高齢者の多様な働き方のニーズに応え、就業機会の拡大、いっそうの適正就業推進を図るために、シルバー派遣事業を推進します。

(12) 自主財源の確保について

会員増強、事業拡大・事業実績向上を図ることはもとより、地域の特性を生かした新規事業の確立を推進します。

また、特定公益増進法人制度を活用し、企業・一般市民からセンター事業の主旨や目的に理解を得て、寄付金サポートの推進を図ります。

(13) その他の取組み

- ① 会報の発行
 - ・センター情報誌の会報(きらり、「見て・読んで・楽しい」、ホットな手づくり会報作り)に取り組めます。
- ② 福利厚生事業の推進
 - ・会員のつどい・会員作品展の開催をはじめとし、会員の文化・学習活動など福利厚生活動の充実を図ります。
- ③ 関係団体との連携強化
 - ・市をはじめとする関係行政機関・諸団体との連携強化・調整を密にし、センター事業の円滑な運営を図ります。

収 支 予 算 書 (案)

平成23年4月1日から平成24年3月31日

(単位:円)

区分	科 目		予算額	前年度 予算額	増減額	備 考
	大	中 小 科 目				
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
		受託事業収益	239,665,000	242,265,000	△ 2,600,000	
		受取配分金	209,212,000	211,500,000	△ 2,288,000	就業した会員への配分金 支出に充てられる収入
		受取材料費等	12,700,000	12,950,000	△ 250,000	就業に要する材料等を購入 するための収入
		受取事務費	17,753,000	17,815,000	△ 62,000	就業機会提供に係る実費 弁償的収入
		労働者派遣事業等受託収益	5,000	5,000	0	
		労働者派遣事業受託収益	5,000	5,000	0	
		受取会費	2,319,000	2,283,000	36,000	
		正会員受取会費	2,304,000	2,268,000	36,000	正会員からの会費収入
		賛助会員受取会費	15,000	15,000	0	賛助会員からの会費収入
		受取補助金等	22,406,000	29,427,000	△ 7,021,000	
		受取連合交付金	9,712,000	14,410,000	△ 4,698,000	
		受取府補助金	2,394,000	2,862,000	△ 468,000	
		受取市補助金	10,300,000	11,560,000	△ 1,260,000	
		受取連合助成金	0	50,000	△ 50,000	
		シニアワークプログラム 技能講習共同費収益	0	545,000	△ 545,000	
		受取負担金	158,000	158,000	0	
		受取負担金	158,000	158,000	0	研修会・講習会参加等の 負担金
		受取寄付金	50,000	1,000	49,000	
		受取寄付金	50,000	1,000	49,000	他団体からの寄付による収 入
		特定資産運用益	5,000	5,000	0	
		特定資産受取利息	5,000	5,000	0	特定資産に係る預金利息
		雑収益	53,000	53,000	0	
		受取利息	5,000	5,000	0	預貯金の利息
		雑収益	48,000	48,000	0	その他の雑収入
		経常収益計	264,661,000	274,197,000	△ 9,536,000	

(単位:円)

区分	科目		予算額	前年度 予算額	増減額	備考
	大	中 小科目				
	(2) 経常費用					
	事業費		264,750,000	275,318,066	△ 10,568,066	
		支払配分金	209,212,000	211,500,000	△ 2,288,000	就業会員に対する配分金 支払
		支払材料費等	11,500,000	11,237,000	263,000	原材料代、就業に伴う 諸経費等
		給料手当	20,602,000	22,697,000	△ 2,095,000	職員給与
		臨時雇賃金	0	110,000	△ 110,000	
		法定福利費	4,222,000	4,536,000	△ 314,000	社会保険料等
		退職給付費用	2,434,000	2,977,000	△ 543,000	退職金共済掛金等
		福利厚生費	91,000	151,000	△ 60,000	健康診査料等
		旅費交通費	201,000	243,000	△ 42,000	会議開催に係る旅費
		通信運搬費	848,000	737,000	111,000	郵便料、電話代等
		減価償却費	228,000	119,066	108,934	
		会議費	0	6,000	△ 6,000	
		什器備品費	0	612,000	△ 612,000	
		消耗品費	851,000	926,000	△ 75,000	事務用消耗品、燃料費等
		修繕費	294,000	320,000	△ 26,000	機械器具、自動車及び 作業場等の修繕費
		印刷製本費	431,000	452,000	△ 21,000	月刊シルバー等
		光熱水料費	948,000	960,000	△ 12,000	ガス、電気、水道料
		賃借料	3,907,000	4,074,000	△ 167,000	車輛リース料等
		保険料	2,296,000	2,474,000	△ 178,000	会員傷害保険料等
		諸謝金	3,311,000	7,251,000	△ 3,940,000	講師等謝金
		租税公課	327,000	370,000	△ 43,000	自動車重量税、消費税等
		支払負担金	70,000	244,000	△ 174,000	会議等負担金
		組織活動助成費	2,000	259,000	△ 257,000	
		委託費	2,969,000	2,907,000	62,000	事業運営システム等保守料
		教材費	0	109,000	△ 109,000	
		支払手数料	5,000	15,000	△ 10,000	振込手数料等
		支払委託金等返還	1,000	1,000	0	
		雑費	0	31,000	△ 31,000	

(単位:円)

区分	科目		予算額	前年度 予算額	増減額	備考
	大	中 小科目				
		管理費	2,366,000	1,327,000	1,039,000	
		役員報酬	792,000	798,000	△ 6,000	理事会経費
		給料手当	587,000	7,000	580,000	職員給与
		法定福利費	103,000	0	103,000	社会保険料等
		退職給付費用	65,000	0	65,000	退職金共済掛金等
		福利厚生費	3,000	0	3,000	健康診査料等
		旅費交通費	9,000	0	9,000	会費等旅費
		通信運搬費	70,000	0	70,000	郵便料、電話代等
		消耗品費	42,000	0	42,000	事務用消耗品
		光熱水料費	6,000	0	6,000	ガス、電気、水道料
		賃借料	100,000	120,000	△ 20,000	総会会場費
		租税公課	38,000	0	38,000	
		支払負担金	229,000	0	229,000	関係団体年会費
		委託費	292,000	402,000	△ 110,000	総会開催に係る委託費
		支払手数料	15,000	0	15,000	各種手数料等
		雑費	15,000	0	15,000	諸雑費
		経常費用計	267,116,000	276,645,066	△ 9,529,066	
		評価損益等調整前当期計上 増減額	△ 2,455,000	△ 2,448,066	△ 6,934	
		特定資産評価損益等	0	0	0	
		評価損益等計	0	0	0	
		当期経常増減額	△ 2,455,000	△ 2,448,066	△ 6,934	
		当期一般正味財産増減額	△ 2,455,000	△ 2,448,066	△ 6,934	
		一般正味財産期首残高	24,701,548	25,015,350	△ 313,802	
		一般正味財産期末残高	22,246,548	22,567,284	△ 320,736	
II		正味財産期末残高	22,246,548	22,567,284	△ 320,736	

役員名簿

役 職	氏 名
理 事 長	谷 垣 隆
専務理事	喜 多 秀 和
理 事	柴 田 ま さ
同	高 木 定 男
同	加 納 裕 司
同	田 近 明
同	池 田 恭 一
同	橋 本 淑 子
同	鶴 見 暁 子
同	藤 村 秀 雄
監 事	首 藤 俊 一 郎
同	蓬 菜 佳 子